妙 法蓮華 經。 安樂 行品。第十四 の ままっぽうれんげーきょう あんらくぎょうほん だいじゅうしー

ぎょう まーかーさつ のういーしゅじょう おー ごー あくせー さつまーかーさつ みょうぼー さつまーかー さつしんごんしょ 能爲衆 生。 於後惡世。 きょうじゅんぶッこー 爾時文殊師利法王子。菩薩摩訶薩。 にーじー もんじゅしーりー ほうおうじー 行 。 摩訶薩。 1 菩薩 順佛故。 しょげーどう 諸外道。 にー かんしょ ほうにょじッそう 而觀諸法如實相。 じゅうにんにくじー 摩訶薩親近處。 住忍辱地。 於後惡世。 おーごー あくせー 欲說是經。 よくせつぜー きょう 梵志。 えんぜつぜーきょう 演說是經。 ぼんじー 發大誓願。 ほつだいせいがん 尼犍子等。 にーけんしーとう にゅうわー ぜんじゅん ぼー さつまーかーさつ うんがー のうせつぜーきょう 云何能說是 經。 ぼーさつまーかーさつ 菩薩摩訶薩。 和善 順。而不卒暴。 やくふー ぎょうふー ふんべつ とうあんじゅうしー ほう 亦不 行 不分別。 當安住四法。 もんじゅしーりー 文殊師利。 於後惡世。 おー ごー あくせー ぎゅうぞうせー ぞくもんぴつ 及造世俗文筆。 にーふー そつぼう びゃくぶつごん ふーしんごん 白佛言。世尊。 不親近。 うんがー みょうぼー さつまー かーさつぎょうしょ 云何 名 菩薩摩訶薩 行 處。 護持讀誦。 ごー じー どくじゅ 佛告文殊師利。 ぶつごうもんじゅしー りー いッしゃ あんじゅうぼー さつぎょうしょ 者安住菩薩行處。 ぜー みょうぼー さつまー かーさつぎょうしょ 是名菩薩摩訶薩行處。 こくおうおうじー しんやくふーきょう うーぶーおーほう 心亦不 驚。又復於法。 せーそん 國王王子。大臣官 長。 讚詠外書。 さんようげーしょ 說是法華經。 せつぜー ほッけー きょう ぜーしょぼーさつ 是諸菩薩。甚爲難有。 だいじんかんちょう にゃくぼー さつまーかーさつ 若菩薩摩訶薩。 ぎゅうろーがー やーだー 及 路伽耶陀。 じんニー 世尊。 親近處。 しんごんしょ せーそん にゃくぼーさつ 若 菩薩 なんヌー うん 不親 む l 無所 何 が しょ ぼし

取能 やくふー ぎょうよー どうしー ないしー いーほう いんネん かー にょとうぐー ごー しゅのうしょうよくそうそう わくじーらいしゃずいぎーせッぽう うーばーいー やくふーもんじん ぎゃ くろー がー やー だー しゃ 亦不 樂 與同師。 寡女等共語。 或時來者隨宐說法。 優婆夷。亦不問訊。 若於房中。 若經行處。 若在講堂中。 不共住止。 或時來者。則爲說法。無所悕望。又不親近。求 聲 聞。比丘比丘尼。優婆塞。 わくじーらいしゃ そくいーせッぽう 至爲法。 路 うーふー しんごん 又不親近。旃陀羅。及畜豬羊鷄狗。 生欲想相。 伽耶陀者。亦不親近。 しゅどくにゅうじー 須獨 入 時。 猶不親厚。 ゆーふー しんこう やくぶー ふーごん 亦復不近。 せんだーらー やくふー しんごん じょうこうざー ぜん にー いー せッぽう ' 但一心念佛。 而爲說法。 常好坐禪。 にゃくおーぼうちゅう にゃッきょうぎょうしょ にゃくざいこうどうちゅう ふーぐーじゅうしー たんいッしんねんぶつ むーしょけーぐー 無所悕求。文殊師利。 むーしょけーもう うーふーしんごん ぐーしょうもん (びく)(びく)にー うーばーそく ぎッちくちょようけいくー きょうぶー よーじー 況 復餘事。 ごーしゅふー なんしーにん 五種不男之人。以爲親厚。 諸有凶戲。 しょうーくーけー やくふー ぎょうけん 亦不樂見。 もんじゅしーりー ざいおー げんしょ 在於閑處。 にゃくいーにょにんせッぽう ふーろーしーしょう 若 爲女人說法。 ふー ぎょうちく 不樂畜。 相扠相撲。 そうしゃそうぼく 畋 獵 漁捕。 諸惡律儀。 でんりょうごーぶー うーぼーさつまーかーさつ ふーおうおーにょにんしん いーいーしんこう しゅッしょうごーしん にゃくにゅうたーけー 又菩薩摩訶薩。不應於女人身。 若 入 佗家。 攝其心。 ねんしょうでーしー 年 小 弟子。 ぎゅうなーらーとう 不露齒笑。 しょあくりつぎー 及那羅等。 ふー どくにゅうたーけー 不獨 入 佗家。 ふー よー しょうにょ もんじゅしーりー 不與小女。 文殊師利。 しゃみー しょうにー 沙彌 ふー げんくーおく 種種變現之 しゅじゅ へんげんしー 不現胷臆。 如是人等。 にょぜー にんとう 是 名 ぜー みょう にゃくうー 處女 しょにょ

初親 如是法相。 にょぜー ほうそう 如虛空。無所有性。 にょこーくう しょしんごんしょ 無量 むーりょうむーへん 近處。復次菩薩摩訶薩。觀一 むーしょうーしょう 無邊。 ぶーしーぼー さつまーかーさつ ぜー みょうぼー さつまー かーさつ 是 名 菩薩摩訶薩。 むーげーむーしょう 無礙無障。 いッさいごー ごんどうだん 一切語言道斷。不生不出不起。 無名無相。 かんいッさいほうくう 但以因緣有。 たんニー いんネんヌー 第二親近處。 だいにー しんごんしょ 切法空。如實相。不顚倒不動。不退不轉。 ふー しょうふー しゅつふーきー にょじッそう ふーてんどうふーどう じゅうてんどうしょうこーせつ 從 爾時世尊。 にー じー せー そん 顚倒 生 故說。 むー みょうむーそう 欲重宣此義。 よくじゅうせん (しぎ) じょうぎょうかん 常 ふーたいふー 樂觀。 じつむーしょ 實無所 てん

而說偈言

にー せつげー ごん

にゃく やく おうにゅうぎょうしょ う じん かん ちょう 臣 入行處 菩薩 ぼー ごん さつ ぎッ 及 於後 おし ぞうじょうまん 凶 みょうじー らーかん 名 字羅漢 親ん ت ا けん 上 慢 險 ごん 戲け 近 あく 世 しゃ にん 人 しょ 者 處 ぎゅう びーくー 貪 とんぢゃくしょうじょう ぎッ せん む | | | | | じょう リー こくおう 及旃陀羅 無 常 著小 怖 比 丘 離 畏 心 . j. 國 王 よく 欱 外 ぎッ 好 こうけー さん ぞう がくしゃ 三藏 せッ 說 戲 道さ こく 此 Ļ しょう しゃ おう 志

是ぜ入。莫を凶い販尿がな寡か菩ば若ゃ 獨さ險けん 肉に莫ま女に薩す是ぜ 屛びょう 相き 自じ 親し處し則そ人に 食き處は撲る活か近る女は 以무 等さ 行 處 ぎょうしょ 將う 種し **衒☆ 屠と及ぎ無む** 爲い 以무 賣ぉ 兒に諸は所は好る 女に種じゅ \_ ín 近点 比亞 說夢 **嬉**章 女に 魁ヤ不平 愄밥 心心 處は丘く法質戲は色を膾を男な心が來い 皆が不予 以무 到さ 説も**婬**ん 勿り 此片 懐~ 無む 薩す婆ば 親ん帰け 丘~時~等~人に捕ぶ近で望き 能の ーり無む盡じん 皆朮爲ㅏ以饣 而に 爲に 得ぐ勿す勿す利り爲り 心心 戲け 念ねん 殺せっ 親ん 親ん 親ん 說も 佛ぶっ 笑り 近点 近点 害机 厚豆 法原 道台 近点 説さ **佛**ぶ

若く不可觀か在が順ん 無む 是『亦や又う 斯り 復ぶ 修り 諸は亦や菩原 於す不予 皆が 有う 薩 s 男なん 行<sup>ぎ</sup>う 怯ら 有う 心心 後ご退た 無り滅め處し女に お住一相 は 一相 安ぁん 猶り 是 t 是 t — !} にゅうぜー ぎょうしょ 如に住場っている。 名<sup>み</sup>ょう 是 切さ 行 智节 諸は 處 動き **實**じつ 者 は 法 ほ 法 ほっ 空; ぜし、 及 <sup>ぎ</sup>ッ 是 無む 如に 是世 所は空気 親にがいた。 有りないでする。 **名**近處 - みょうごんしょ 親ん 知节 靜 有 ే **處**し

其心安 おう あんじゅうしょほう 住初法 しょうおくねん 正 子 臣 一憶念 ノ ん みん のう 能 むー うー こうにゃく 婆 隨 無有怯 於後世 おーごー もん かん とう 說 せつ 文もん じゅうぜんじょうきー 從 禪 ほッ 化 法 殊 | | 演 定起 きょう 經 נו ו 說 みょう ぼー 斯 諸 きょう 經 或 さつ 典

うーやくふーしょうおんけんしーしん こうあくぢょうたん おーしょうもんにん うー もんじゅしーりー 所難問。 しょなんもん 又亦不 生 怨嫌之心。 好惡 長 短。於 聲 聞人。亦不 稱 名。說其過惡。 にゃくどッきょうじー 又文殊師利。如來滅後。於末法 中。欲說是 經。應 住 安樂 行。若 口宣說。 若讀經時。 よくじゅうせん (しぎ) 欲 重 宣此義。 ふーいーしょうじょうほうとう たんニーだいじょう 不以 小 乘 法答。但以大 乘。 にょらいめつごー おーまッぽうちゅう よくせつぜーきょう おうじゅうあんらくぎょう ふー ぎょうせつにんぎッきょうでんかー 不樂 說人及 經 典過。 にー せつげー ごん 而說偈言 ぜんしゅ にょぜー 善修如是。 やくふー しょうみょう あんらくしんこー 安樂心故。 やくふー きょうまん 亦不輕慢。 にーいーげーせつ りょうとくいッさいしゅちー せつごーかーあく 而爲解說。 諸有聽 しょうー ちょうしゃ 亦不稱 やくふー しょうみょう 令 得 一 諸餘法師。 しょよー ほッしー ... 名 。 切種智。 不逆其意。 ふーぎゃくごー にゃッくー せんぜつ ふー せッたー にん 不說佗人。 讚歎其美。 さんだんごー みー ۱۱ にーじーせー 爾時世

以무 離り 因ん 諸は 安めん 漸が 微妙義 優<sup>う</sup>で 婆ばし 服ぐ **處**じょ ほう 薩 さつじょうぎょう **漸**ぜん 縁ね 諸な 油炉 諸は 常 臥が 憂う 増ゔ 譬り 因んん 座草 樂 悩っ 益さ 諭り **寒** そ 縁る 入 於佛道 ( よっとう 慈心說 及優婆夷 無量譬 **澡 浴 塵** 敷演がないるので 隨 ずい もん ニー 穏ん - で **譬** : 論 說も 別 Š 穢礻 法賞 說さ 法ぽっ 藥や **書夜常**説 以是方便いるが 若有難問 著新淨衣 除懶惰意 若有比丘 國王王子 開か 而に 於淸 淨地 おーしょうじょうちー 説於其中 示 じし 衆 しゅ じょう 生 無上道教 及 比丘尼 無む 咸ん 及 <sup>ぎ</sup>ッ 皆い 内外倶 淨 **隨**がい 面に **令** 歡 使丫 懈け 義 <sup>ぎ</sup> 臣ん 施 じょうざー 面に 士 <sup>じ</sup> 怠だ 發ッ 心心 答さ 民かん 想き

又文殊 う う むーえーしッとー 無 もんじゅしー 婆 ばーそくうー 懷 塞優婆夷。 嫉 妬。 師利。 ばーいー I) てんノうしーしん 諂誑之心。 亦勿 輕 菩薩摩訶薩。 ぼー さつまーかー 求 聲 ぐーしょうもんしゃ やくもッきょうめー 聞 者。 さっ 於後末世。 おー ごー まッ せー 求辟支佛者。 ぐー びゃ くしー ぶッしゃ 馬。 がくぶつどうしゃ ぐーごーぢょうたん 學佛道者。求其 法欲滅時。 ほうよくめつじー ぐーぼー さつどうしゃ 求菩薩道者。 八長短。 じゅじー どくじゅ 受持讀 誦。 にゃく(びく)(びく)にー 若比丘比丘尼。 無得惱之。 むーとくのうしー 斯 ļ

きょうでんしゃ

經

典者。

りょう

亦《 算 さん 能 のうじゅうあんらく 亦《 能の 但たん じゅ 無 むーうーしゅう 演 えん そく 數 住 むー ひん 無 則 憂 ひ I ぜッ 擯 說 大 安 心 愁 出が 樂 Ļ 利 斯 せッ 安 ぎゅう めー 說 如 にょ がー じょう あんじゅうにん 安 說 みょうほッけー きょう 及 妙法薬 住 ιζί Ι 我 らッ 樂 不 法 罵詈 のう い ん 能 供 忍故 י ו 因 盡し 說 せつ Ę 者 しゃ 經 緣 其ï 我が 智 ちし う 心が無い 成 じょうぶつ にん 滅 者 無 む l \ ا <u>ئے</u> しッ رگر ا 功 如 度 佛 怖 嫉 どく 畏り チー 恚 後 ご 道 りょう 加か にゃく せん ぜん 諸 惱 のう とう しゅ · う 衆 有 じょう しょう 比 障 亦 ご 杖 びー 其 礙げ 爾 とう 心心

じゅいーのうせつ 得好同學。 とッこうどうがく じゅんほうこー じッ ぽうしょ だいぼー さつ いッさい 汝是放逸之人。 よくじゅうせん (しぎ) 誦已能說。說已能書。 若 使人書。 供養 經 卷。 恭 敬 尊 重 讚歎。 薩。於後末世。法欲滅時。有 成 就。是第三安樂 行 者。說是法時。無能惱亂。 十方諸大菩薩。 にょぜー ほういつしー にん 順 法故。 不多不 少 。 乃至深愛法者。 亦不爲多說。 文殊師利。 是菩薩摩訶 切衆生。 おーごーまッせー ほうよくめつじー うーじょうじゅ ぜーだいさんあんらくぎょうしゃ せつぜーほうじー 重宣此義。 しゅじょう けし ふーたーふーしょう ないしーじんナいほうしゃ やくふーいーたーせつ もんじゅしーりー 語其人言。 ごーごー にんごん せッチーのうしょ にゃくしーにんしょ くーようきょうがん くーぎょうそんじゅうさんだん ぐー どくじゅぜーきょう 共讀誦是 經。 起大悲想。於諸如來。 きーだいひーそう にーせつげーごん 而說偈言 於道懈怠故。 じょうおうじんしん くーぎょうらいはい おー どうけー だいこー 常應深心。 汝等去道甚遠。 にょとうこー どうじんのん おーしょにょらい やくとくだいしゅ 亦得大衆。 恭 敬 禮拜。 又亦不應。 うー やくふー おう 起慈父想。 にーらいちょうじゅ ちょういーのうじー じゅうふー のうとく 而來聽受。 終不能得。 於一切衆生。 おーいッさいしゅじょう 戲論諸法。 けー ろんしょ ほう 於諸菩薩。 おーしょぼーさつ 聽已能持。 いッさいしゅ 一切種 うー しょじょうきょう 有所 諍 智。 びょうどうせッぽう 平等說法。 起大師想。 きー だいしーそう ぜーぼー さつまーかー 所以者何。 じーいー のうじゅ しょ ハー しゃ がー 競。 持已能誦。 むー のうのうらん 爾時世尊。 にーじーせーそん 當於 とうおー 於

にゃくよくせつぜーきょう 若欲說是 經 とうしゃ しッ チー まん 當捨嫉恚慢 誑 邪 じょうしゅ しちじきぎょう 修 · 質 直 行

うー もんじゅ ざいけーしゅッけー にんちゅう ごー にんすいふー もん 如是之人。則爲大失。如來方便。隨宐說法。不聞不知不覺。不問不信不解。 にょぜーしーにん そくいーだいしつ にょらいほうべん ずいぎーせッ 又文殊師利。 じんづうりき 人雖不問。 神通力。 じッ 第 だい さん ぼう 於 出家人中。 Ļ 三法 ぽうだい きょうめットー 諸 輕 ぶッ ı) I 佛 蔑 ちーえーりき 智慧力。 如 にょ 說 世 ふー しんふー げーぜー きょう 菩薩 不信不解是 ぼー さつまー かーさつ ぜし そん さつ ぽう ちし じょうにゅうわー 摩訶薩。 しょうむーじょうぶーそう 愍衆故 行 みん しゅ こー ぎょう しょうだいじー 智 常 生 生大慈心。 引之令得。 いんしーりょうとく しゃ 無上父 柔和能 おう 應 經。 . し ん 論 守 のうにん おH 於後末世。 どう ご 想 忍 ごー まッせー 護 道 法 我得阿耨多羅三 藐 三菩提時。 がーとくあーのくたーらーさんみゃくさんぼーだい 於非菩薩人 中。 おーひーぼー さつにんちゅう じゅうぜー ほうちゅう 住 破 はし 慈 じし いツ おうしょうくーぎょうしん 應 是法中。 於 おー しん あん らく ぎょう 生 恭 心 ぽう ふーもんふーちーふーかく ふーもんふーしんふーげー きょう まん 安 樂 憍 於 ほうよくめつじー 法欲滅時。 佗 敬 慢 行 しん 切 悔 もんじゅしーりー 文殊師利。 しょうだいひー しん せッ ぜし ۱ζ۱ آ むーりょうしゅしょきょう 是 說 不 굸 生大悲心。 無量衆所敬 うー じゅじー ぽう 法 そく しょう けー 則 むー しょう げー 我 ぜーぼー さつまー ľ 是菩薩 ほッけー きょうしゃ Y 佛 師 隨在 應作是念。 おうさー ずいざい 經 何地。

ぜーねん

於

がし

訶 かし さつ

じゅじー どくじゅ かいとッかんぎー そんじゅうさんだん ごんしんしーぐー 戰有功者。 せんヌー くーしゃ しょしょうおう もんじゅしーりー 皆得歡喜。 ちゅう うーにんらい おー にょらいめつごー 嚴身之具。 諸小王。 受持讀誦。 文殊師利。 尊 重 讚歎。 於如來滅後。 中。有人來。欲難問者。 諸天 晝 夜。 優婆塞優婆夷。 うーばー そくうーばーいー 不順其命。 ふーじゅんごー みょう ぜー ほッけーきょう 是法举經。 しょいーしゃがー 所以者何。 或與種種珍寶。 わくよーしゅじゅちんぽう 虚空諸天。爲 聽 法故。 文殊師利。 もんじゅしーりー そくだいかんぎー 即大歡喜。 こーくうしょてん よくなんもんしゃ しょてんちゅうやー うー じょうじゅ 有成就。 こくおうおうじー 國王王子。大臣人民。 此經是一切。 しーきょうぜー いッさい 於無量國中。乃至名字。不可得聞。何況得見。 此第四法者。說是法時。無有過失。 おーむーりょうこくちゅう ないしーみょうじー ふーかーとくもん しー だいしー ほうしゃ 譬如強力。 ひー にょごうりき いー ちょうほうこー ずいくー しょうしー 隨功賞賜。 じーてんりんノう 時轉輪王。 こんごんるーりー 金銀璢璃。 だいじんにんみん やくじょうずいじー てんりんじょうおう 轉輪聖王。 亦常隨侍。 せつぜー ほうじー 起種種 兵。 きー しゅじゅひょう 或與田宅。 わくよー でんたく じょういーほうこー かーこーみーらいげんざい 過去未來現在。 常爲法故。 しゃこーめーのう 硨磲**碼碯**。 婆羅門居士等。供養恭敬。 (ばら) もんこーじーとう むーうーかーしつ よくいーいーせい 欲以威勢。 にゃくざいじゅらくじょうおう じゅらくじょうおう 聚落 城 邑。 若 在聚落 城 邑。空閑林 にーおうとうばつ 而衞護之。能 令 聽 者。 而徃討伐。 にーえーごーしー のうりょうちょうしゃ 珊瑚琥珀。 さんごー こーはく しょぶつじんりき 諸佛神力。所護故。 じょういー (びく) (びく) 常 爲比丘比丘 ごうぶくしょこく 降伏諸國。 くーようくーぎょう おうけんひょうじゅ 王見兵衆。 がー きょうとッけん ぞうめー しゃじょう 象馬車 乘。 或與衣服。 わくよー えーぶく しょごーこー くうげんりん 侕

けんげんしょうぐん にーこんよーしー にょらいやくぶーにょぜー おーさんがいちゅう けんしょひょうじゅ 引導其心。 いんどうごーしん 賜以禪定。 しー いーぜんじょう よー しーぐー せん じょうちーえーりき はー まーもう 而今與之。 如來亦復如是。 於三界 中 。 爲大法王。 以法 敎 化。 見諸 兵 衆。 與之共戰。 にゃくいーよーしー 奴婢人民。 若 以與之。 定 智慧力。得法國土。王於三界。而諸魔王。不肯 順 伏。如來賢 聖 諸 將 。 びーにんみん 聖軍。 にーじー にょらい 爾時如來。 唯髻 中 明珠。不以與之。 ゆいけッちゅうみょうしゅ とくほうこくどー おうおーさんがい にーしょまーおう ふーこうじゅんぶく にょらいげんじょうしょしょう 其有功者。 ごー うーくーしゃ よー ごー おんまー うーだいくーしゃ しんじんかんぎー りょうかいかんぎー 解脫。無漏根力。諸法之財。又復賜與。涅槃之 城。言得滅度。 げーだつ 與五陰魔。 有大功者。 心甚歡喜。 以此難信之珠。 久在髻 中 。 令 皆歡喜。 王諸眷屬。 必大 驚 怪。 おうしょけんぞく むーろーこんりき しょほうしーざい うーぶーしーよー やくだいかんぎー 亦大歡喜。此法華 心亦歡喜。 煩惱魔。 ぼんのうまー しんやッ かんぎー ひつだいきょうけー にーふーいーせつ 而不爲說。 ふーいーよーしー しー ほッけー きょう しーまーぐーせん 死魔共戰。 いーしー なんしんしーしゅ 於四衆中。爲說諸經。 令其心悅。 おーしーしゅちゅう ぜー ほッけー きょう 經。 是法莝經。 いーだいほうおう いーほうきょうけー 文殊師利。 もんじゅしーりー 所以者何。 しょ いーしゃがー 能令衆生。 のうりょうしゅじょう うーだいくーくん 有大功勳。 いー せッしょきょう 獨王 頂 上。有此一珠。 どくおうちょうじょう くーざいけーちゅう 如 來。 文殊師利。 もんじゅしーりー にょらい ねーはんしーじょう ごんとくめつどー めッさんどく 滅 しー いッ さいちー 至 亦復如是。以禪 やくぶー にょぜー 三毒。 一 切 智。 いッさいしゅじょう りょうごー しんえつ 如轉輪王。 にょてんりんノう 一切衆生。 ふー もうよー にん うーしー いッしゅ 不妄與人。 しゅっさんがい いッさいせー いしぜん

最在其 さいざいごー じょう だいいッしーせつ 今乃與之。 こんないよー しー 第一之說。 多怨難信。 たー おんなんしん 上。 於 諸 說 おーしょせッちゅう 文殊師 もんじゅしー ぢょうやー しゅごー 長夜守護。 先所未說。 せんしょみー 中。 利。 í) I さい 最爲甚深。 此 法華經。 ほッけー きょう いーじんじん ふー もうせんぜつ 不妄宣說。 にー こんせッしー 而今說之。 末後賜與。 まつごー しーよー 諸佛如來。 しょぶつにょらい 始於今日。 しーおー こんにち 文殊師利。 もんじゅしー i) I にょひー ごうりきしーおう 如彼強力之王。 ひー みッしー ぞう 祕密之藏。 此法華 ないよー にょとう しー ほッけー 乃與汝等。 きょう 經。 於諸 おーしょきょうちゅう 久護 明 珠。 くー ごー みょうしゅ 而 ぜーしょにょらい 是諸如來。 敷演之。 ふー えんしー 經 中。

じょう ぎょう にん ご 常 まッ 忍 にく あい じし みん ļ 愍 いツ しゃ 切 ない けし のう 能 しゅッ えん 演 ぜつ 佛 ぎゅう ひー 所

鰯

時世尊。

欱

重

宣此義。

而說偈·

にー せつげー

ごん

にーじーせーそん

よくじゅうせん (しぎ)

應 おう しょう 生 ごう 世 斯 此 とう ほう おう べん 者 便 於 ひょう 信ん 家 說 出 此 きょう ほう けし しょうしー りょうじゅうごー ちゅう 及 非 住 賜 ぼ 諸

此り末ま以り欲を以り如ほ 如に 或な 經う 來ら 後ご 大だい 大だい 有う 求〜 車が 亦《 終じ 方り 解げ 勇っ 乃な 便ん 脱だっ 爾に 爲り 健だ 時じ 悲り 尊ん 爲り 衆しゅ 說さ 說も 與片 如に 能の 種し 此片 諸な 經 きょうちゅうじょ 是 t 法り 諸は 爲り 種じゅ しょ 諸 魔 まー 戦 tb ん 化草 法場 法り 等き 難なん 中 珍ゟ 經ぎょう 寶う 華草 世节 王ぅ 事じ 說さ 上 うがー 爲口 見ん 忍ん 王ががし、 我が 既育 奴ゃ 如に 我 是衆生 辱 大力 知り — เก 滅めっ 王ぅ じょうしゅ 婢草 常 衆生 い 中 ちゅう 切け 解げ 度ど 財だ 田でん 守 人んん 髻け 物も 護ご 受じゅ 智を 求~ 不言 明から 得ぐ 說も 明から 歡んかん 喜ぎ 落 其「 種しゅ 諸な 慧礻 珠り 珠り 城 力ٷ 種じゅ 苦~ 法点 賜峕 賜旨 道ぎ 開かれ 與片 **惱**っ 藏 ぞ **之** し 示じ之り已り法 與片

若人惡罵 不 生 貧窮 又見 龍 天 <sup>て</sup>ん 見ん 智を どくぜー きょうしゃ へ見 龍 神 ・けんりゅうじん - 注ー こうみょう 諸童子 諸如ない 是 經 其『 者 身ん 常 無憂惱 照於 以爲給使い いー いー いー いー きゅうじー 日則閉塞 にょ にッ・ **演** 說 卑で 面に 阿ず 坐학 如 日之照 しゅ 師남 賤 せん 脩 斯 羅等 子片 説 法 ぽっ 醜しぬ — เม 切点 陋る 以위 衆生樂見 又う 遊 **行 無** 刀 杖 不 不 若於 諸は 數し 無 比で 如に 音 夢 <sup>む</sup> 病 恆 ゔ゙ 丘台 親 ちゅう 沙ぱ 中 畏り 加か 衆しゅ 如に 毒ぐ 如に \ | 量い 恭 但たん **一繞** 説法 不予 |見妙事 ぎょうがッしょう **慕**ゴ 敬 師旨 色 b 說ぜ 相き 子宁 合 掌 ... 子 能。 まっ ぎぃ 賢ん 鮮 **金** 5 ん 聖じょう

しょ う ざいぼー だいじゅ 諸 又う 汝に むーさー こくおう 佛 ぶッ しんこんじき じんにゅうぜんじょうけん 或 佛ぶゃ 深 入 禪定 こくどー ごんじょう 見自身 提 土嚴淨 作 身金色 ぜん なん 知ず 善 樹 或 男 王 Ļ 心 b 子 ぎー 而に 處 ひゃッぷくそうしょうごん 捨 しゃ くう でん 在山林中 百 見十方 廣 c f i とう 深 じんにゅうぶつどう 說 而 宫 福相莊嚴 じッ ぽう ぶつ 無 むー じょう おI 於 ل ا 殿 師 無む 來旨 佛 供 け ん 眷 比が 佛 世节 道 法 座草 屬 ぞく 得無量智 亦<sup>ゃ</sup>く **有**う そく 修 しゅじゅうぜんぼう 卽 ۷ ぎゅうじょうみょうごーよく 求 及 聞 も ん 身處 ۱۱ ا しんしょ ちゅう 習 善法 陀 ☆ 爲 どう 道 法賞 上 授じゅ Ļ 5 四 過か 爲り 中 衆 妙 しゅ にん 人 五 成最正覺 世 是 是 しょう しょ 合 掌 佛 ぶッ がッ がッしょうちょうぼう しょう ふー 證 不 にち 欲 說さ 之大道 聽 得 諸 ぎょうけいお どうじょう じょううー ぜー こう 常 退だ しょ 詣 有是好 智 佛 之 こ 於道

説無漏妙法 成無上道已 若後惡世中 説 **是**ず 起き 度無量衆生 **一 轉法** 一等にいっこ 輪 法ぽっ 是人得大利 爲四衆說法 後當入涅槃 如上諸功德 經千萬億劫 如煙盡燈滅